

森と川の学校 ～おおきなテラスのある学校～

「おおきなテラスのある森と川の学校」を実現するため、教職員等とのワークショップを実施したうえでまとめた基本設計に基づき、実施設計ではより具体的な機能や適材適所の仕上材選定の他、構造及び設備の詳細設計をまとめました。

校舎改築の基本方針

- 1) 安全・安心な施設づくり
 - ・安全面に配慮した施設整備を行います。
 - ・常に教職員の目が子どもたちに届きやすい施設配置とします。
 - ・障害のある方も利用可能なトイレを設置し、バリアフリー化を行います。
- 2) 多様な学習に対応できる施設づくり
 - ・教職員が一人一人の子どもと関わり、多面的な指導をすることができるような空間づくりをします。
 - ・様々な学習形態に対応できる多目的室を設置します。
- 3) 快適な学校生活環境づくり
 - ・子どもたちの一日の生活動線を考え、最適な教室配置とします。
 - ・授業音や振動に配慮した教室配置とします。
 - ・採光や風通しが良く、快適な室内環境に配慮します。
 - ・原則として、教室等には冷暖房設備を設置します。
- 4) 災害を想定した施設づくり
 - ・土砂災害警戒・特別警戒区域外に施設を計画し、耐震性を確保します。
 - ・木造校舎には延焼を防ぐRCコアを設置します。
- 5) 地域に根ざした施設づくり
 - ・地域との連携をふまえた施設整備（学童保育等）を設置します。
 - ・地域住民に開放できる音楽室（太鼓練習）や大型遊具利用者が利用できるかわかみテラスを整備します。
 - ・木造校舎とすることで、地場産木材の柱や梁や腰壁など、常に木材が触れられる施設とします。
- 6) 環境に配慮した施設づくり
 - ・地場産木材を使用することで山林の整備を促し、地域産業のみならず、自然環境の整備促進を図ります。
 - ・設備機器の高効率化を図るとともに、自然採光・通風など自然の恵みを活用する仕組みを取り入れます。
 - ・人と人との交流・体験ができる場を整備し、人が発達できる環境づくりを目指します。



北側上空から見た外観イメージ



北側から見た外観イメージ